

あることを暗に仮定している。統計学で言えば、これは解の定常性を仮定する事に相当する。

力学的気候モデルが、物理法則に基づいて各格子点での加速度計算を何億回と繰り返すのに対し、統計的気候モデルは、現実大気の長年の経歴から変動の本質を探り出す事により、予測を行う。前者がスーパーコンピュータの最前線で駆使されるのに対し、後者はパーソナルコンピュータでもそれなりの予測を提供するのは、対照的である。気候予測は大気力学モデルで行うのが常識、といった固定観念がまかりとおっている昨今、統計学者サイドからブレインストーミングな将来予測法が出現することは、おおいに考えられることである。

研究集会後には、ナイアガラツアーが企画されていた。ヨーロッパからの参加者が多かった。トロントには、世界でもっとも高い CN タワー (555 m) がある。これは、筑波にある 200 m 気象観測塔の 2 倍以上の高さである。このスペースデッキ (443 m) から望むトロントの町は、美しく広大で、地平線付近の一面の灯りがシンチレーションのために一斉にゆれていた。眼下を見おろすと、まるで熱気球に乗っているときに、足元がふるえてしまった。群立するカラフルなトロントの高層ビルは、人間の歴史と文明の偉大さを感じさせ、個人を畏縮させる迫力がある。とても有意義なトロントでの研究集会であった。

今年お世話になったレフェリーの方々 (1992年)

五十嵐康人	石原 正仁	上窪 哲朗	上田 博	土器屋由紀子	内藤 成規	中田 隆一	西本 洋相
岡本 雅典	小倉 義光	尾崎 友亮	乙部 弘隆	新田 勅	二宮 洸三	野田 彰	萩野谷成徳
加藤内蔵進	蒲生 稔	木村富士男	隅 健一	花輪 公雄	早坂 忠裕	檜尾 守昭	廣岡 俊彦
郷田 治稔	児玉 安正	近藤 純正	迫田 優一	藤部 文昭	藤吉 康志	堀口 光章	松田 佳久
佐藤 純次	沢井 哲滋	鈴木 栄一	高野 清治	三上 岳彦	水野 量	宮田 賢二	村松 久史
高橋 劭	武田 喬男	田中 博	谷 誠	谷貝 勇	吉崎 正憲	米谷 恒春	劉 堯華
堤 之智	坪木 和久	露木 義	鶴田 治雄				(敬称略)